

云、荆、彊也、

〔和漢三才圖會八十四〕灌木 牡荆 黃荆 小荆 楚 和名奈末江乃木略 中

按、牡荆本朝古者有之今無、

〔重修本草綱目啓蒙二十五〕灌木 牡荆 ニンジンボク。一名土欒通雅 木欒夢溪筆談 鐵荆條盛京通志 人

精外臺秘要 實ノ名 金鍾花藥性要略大 全七葉ノ者

モト和産ナシ、享保年中漢種渡リテヨリ世上ニ多シ、其木叢生ス、高サ丈餘、枝葉兩對ス、春新葉ヲ生ズ、三葉一蒂後五葉トナリ、參葉ノ形ノ如シ、故ニニンジンボクト名ク、一葉ノ形長ク尖リ鋸齒アリ、香鬻葉ニ似タリ、淡綠色、初出ノ者ハ微紫色ヲ帶ブ、新枝ハ方ニシテ綠色、舊枝ハ圓ニシテ褐色ナリ、折レバ中ニ方心アリテ衆木ニ異ナリ、夏ニ入テ枝梢ゴトニ穗ヲナシ花ヲ著ク、枝多シテ長サ尺ニ近シ、花ハヒキヲコシノ花ニ似テウスフヂ色、後實ヲ結ブ、胡麻ノ大サニシテ圓ニ微長ス、熟スレバ黑色、方書ニ謂ユル黃荊子是ナリ、秋後葉枯レ落、春秋枝ヲ折テ扞插スレバ活シ易シ、コノ枝ヲ尺餘ノ長サニ切り、兩磚上ニ架シ中間火ヲ以燒ク時ハ、兩頭ヨリ汁出ヲ器ヲ以テ承探ルヲ荆瀝ト云、竹瀝ト効ヲ同ス、熱多氣虛、不能食者用、竹瀝、寒多氣實、能食者用、荆瀝ト發明ニ見ヘタリ、

賴桐

〔大和本草十二〕木 賴桐ヒギリ 倭俗唐桐トモ云、本艸綱目海桐ノ集解ノ末ニ載タリ、高二三尺ニスギズ、夏

紅花ヲ開ク、花繁多ニシテサカリ久シ、美ニシテ可愛、寒氣ヲオソル、冬初ヨリオヲヒラ厚クスベシ、或秋ヨリ木幹ヲ切ルモ可也、來春苗生ジ、其年ノ夏花サク、

〔草木性譜人〕桐 略 中

又賴桐集 解 是南國の産にして寒を畏る、冬掘出し凍氣を避べし、春其木を伐て植れば即根を生ず、夏朱赤色の花を開く、形狀附録に圖す、凡桐の類甚だ強き者なり、此餘性の強き者あり、草木